

# 鳴瀬川の主な災害

## ■ 鳴瀬川流域の災害年表

鳴瀬川・田川の主な災害	発生年月日
洪水	1890年(明治23年) 8月
洪水	1910年(明治43年) 8月
洪水	1913年(大正2年) 8月
台風による洪水	1938年(昭和13年) 7月
台風による洪水	1938年(昭和13年) 8月
台風第8号による洪水	1941年(昭和16年) 7月
台風第27号による洪水	1943年(昭和18年) 10月
カスリン台風による洪水	1947年(昭和22年) 9月
アイオン台風による洪水	1948年(昭和23年) 9月
キティ台風による洪水	1949年(昭和24年) 7月
台風第21・第22号による洪水	1958年(昭和33年) 9月
台風15号による洪水	1959年(昭和34年) 9月
豪雨による洪水	1962年(昭和37年) 7月
渇水	1973年(昭和48年)
渇水	1975年(昭和50年) 8月
梅雨前線による洪水	1978年(昭和53年) 6月
渇水	1978年(昭和53年) 7月
台風第15号による洪水	1981年(昭和56年) 8月
台風第18号による洪水	1982年(昭和57年) 9月
渇水	1984年(昭和59年) 7月～8月
渇水	1985年(昭和60年) 8月
台風第10号による洪水	1986年(昭和61年) 8月5日
渇水	1987年(昭和62年) 4月～5月
台風第13号による洪水	1989年(平成元年) 8月
台風第18号による洪水	1991年(平成3年) 9月
渇水	1994年(平成6年) 8月
集中豪雨による洪水	1994年(平成6年) 9月
春雨前線による洪水	1999年(平成11年) 6月
秋雨前線による洪水	1999年(平成11年) 9月
台風第6号による洪水	2002年(平成14年) 7月
渇水	2012年(平成24年) 7月～8月
渇水	2015年(平成27年) 5月～8月
関東・東北豪雨による洪水	2015年(平成27年) 9月
東日本台風による洪水	2019年(令和元年) 10月

## ■ 鳴瀬川の水害

鳴瀬川流域では、幾度となく水害に見舞われ、昭和22年9月、昭和23年9月、昭和61年8月の洪水は大きな被害となりました。なかでも特に甚大な被害となった昭和22年のカスリン台風、昭和23年のアイオン台風は、その後の治水計画に影響する歴史的な洪水となりました。近年でも平成27年や令和元年に大きな洪水被害が発生しています。

### ■ カスリン台風 昭和22年(9月14日)

■ 被害状況  
流域全体 ●床上・床下浸水／4,100戸 ●浸水面積／9,474ha

### ■ アイオン台風 昭和23年(9月15日)

■ 被害状況  
流域全体 ●床上・床下浸水／3,183戸 ●浸水面積／10,269ha

### ■ 昭和61年8月洪水 昭和61年(8月5日)

■ 被害状況  
流域全体 ●床上・床下浸水／1,935戸 ●浸水面積／8,712ha

### ■ 台風第6号 平成14年(7月11日)

■ 被害状況  
流域全体 ●床上・床下浸水／506戸 ●浸水面積／2,125ha

### ■ 関東・東北豪雨 平成27年(9月11日)

■ 被害状況  
流域全体 ●床上・床下浸水／883戸 ●浸水面積／4,375ha

### ■ 東日本台風 令和元年(10月13日)

■ 被害状況  
流域全体 ●床上・床下浸水／678戸 ●浸水面積／5,538ha

## ■ 鳴瀬川の渇水

鳴瀬川の周辺に広がる大崎平野は、我が国有数の穀倉地帯です。そこで利用している農業用水の大部分を鳴瀬川とその支川に依存しています。

漆沢ダム、二ツ石ダムが完成した現在も、未だ水量が不足しており、しばしば番水等を行うなど、かろうじて地域全体の用水を確保している状況です。

鳴瀬川流域の人たちは、昔から洪水や渇水に悩まされてきたんだね。



出典：被害状況において、カスリン台風、アイオン台風は「概要江合・鳴瀬両河川改修工事誌(北上川下流工事事務所)」、昭和61年8月洪水、台風6号、関東・東北豪雨は「水害統計」、東日本台風は「鳴瀬川水系河川整備計画[大臣管理区間]令和4年9月」